

災害時の断水に備えて

～一人ひとりができること～

◇飲料水を確保しましょう！！（3リットル×3日分×家族の人数）



災害に対する水の備えとして、「1人1日3リットルの飲料水を3日分」備蓄することが必要とされています。

各家庭でも家族の人数の3日分を目安に飲料水を確保しましょう。

◇給水容器を備えておきましょう！！

断水時に、行政センターやコミュニティセンター、避難所などで拠点給水を行う場合に備え、飲料水を確保するための清潔なポリ容器等を備えておきましょう。



◇蛇口^{じゃぐち}を閉めておきましょう！！

断水の際は、蛇口^{じゃぐち}が閉まっているか確認しましょう。断水が復旧した際に、蛇口^{じゃぐち}が開いたままだと家の中が水浸しになる恐れがあります。

◇お風呂の残り湯を有効に使いましょう！！

災害による断水時には、お風呂の残り湯は、消火用やトイレを流す時など様々な用途に使用することができます。

お風呂の残り湯は、すぐに流してしまわず貯めておきましょう。

その際は、事故が起こらないようにお風呂にふたをしておくなどの注意もお願いします。

【問合せ先】出雲市上下水道局 営業総務課

電話 0853-21-3511

FAX 0853-22-3988